

海運九条の会ニュース

発行：海運九条の会事務局

和光市本町31-4-102

048-465-5505

ioehara@pep.ne.jp

安倍政権の暴走は、留まることを知らず、エスカレートの一途をたどっています。

特定秘密保護法、集団的自衛権行使容認、原発再稼働、辺野古新基地建設、消費税増税、TPPなど個別テーマで反対しても、自民党独り勝ちの「一強多弱」の政治状況では数の力で押し切られる。それならば国民の声で安倍首相を引きずりおろすしかない、「安倍政権打倒」を掲げるデモが全国各地で起きていると8月23日付東京新聞はつたえています。

同記事によれば、「政権打倒」を掲げたデモは海外では珍しくないが、日本では、安倍晋三首相の祖父である岸信介元首相を標的にした(1960年の)「安保反対、岸を倒せ」ぐらいしか思い浮かばないとの事である。

戦争放棄、戦力不保持、交戦権否認の平和憲法の下で培われてきた国際的な信頼を堅持できるのかそれとも失うことになるのか、今、国民の覚悟が問われています。

そんな中、8月3日、「民間船員も戦地に」「有事の隊員輸送」「予備自衛官として防衛省検討」の毎日新聞の見出しが関心呼びました。

尖閣諸島を含む南西諸島

の有事の際、自衛隊員を戦闘高速のフェリーを地域まで運ぶために、民間フェリーの船員を予備自衛官とし、現地まで運航させる方向で防衛省が検討を始めた。防衛省はすでに先月(7月)津軽海峡フェリー社から「ナッチャン World」号と新日本海フェリー社から「はくおう」号を借りる契約(今年度末までの用船料は2隻で7億円の

りますが、医師や自動車整備士など各種技能を持つ民間人が、10日間の教育訓練で陸上自衛隊の予備自衛官になれる制度があります。今後法改正して海上自衛隊の予備自衛官にも適用できるよう検討する構えです。

これらのことは、今年1月に明らかになった防衛省の内部文書「機動展開構想」の中でも、「有事の際に自衛隊の輸送力が決定的

小野寺防衛相は、この3日付け毎日新聞の記事に対し、5日の記者会見で「船員の方を予備自衛官にというようなことは想定していない」とし「今考えているのは現在自衛隊部隊の訓練等、あるいは災害の場合に自衛隊の艦船もちろん使用するが、足りない場合、民間フェリー等の活用というのでも考えていきたいというのが基本。」としたうえで

「その中に例えば、自衛隊を退官した後、予備自衛官登録をしたような方が職員としてそこに乗って頂くということ、そういうことも歓迎すべきことかということであり、現時点で船員でいらっしゃる方に予備自衛官登録をして頂くというようにことを想定しているわけではない」と弁明したが、口先だけの疑念は拭えません。

自治体が、自衛官の募集に協力していることは、あまり知られていません。7月25日付け東京新聞によれば、自衛隊法や地方自治法で、都道府県知事や市町村長は、自衛官の募集に関する事務の一部を国に代わって処理する「法定受託事務」として義務付けられています。「自衛隊から頼まれば、断るのは難しい。」と松戸市や柏市で、市庁舎に自衛隊から提供された『自衛官募集中』の垂

緊急シブシブ **開催決定!**

「海から見る集団的自衛権」

10月12日(日) 13時～ 池上会館にて

基調講演 : 半田 滋氏 (東京新聞論説兼編集委員)
 パネラー : 平山誠一氏 (外航船員経験者・元全日海中央執行委員)
 鈴木信平氏 (元全国港湾労組協議会事務局長)
 本望隆司氏 (外航船員経験者)

参加協力費 1000円 (資料代を含む)

という)を結んだという記事です。

更に記事は、乗組員について、有事や、平時の演習など年間数十日の運用で現役自衛官を専従させられないとの判断から、自衛官OBの予備自衛官や、あらかじめ予備自衛官に仕立てた民間船員を充てることを検討しているというショッキングな内容です。海自出身の予備自衛官不足が背景にあるようです。

予備自衛官とは、普段は別の職業に従事し、有事の時に召集される志願制の自衛官で、非常勤特別国家公務員のことです。予備自衛官には原則自衛官OBがな

に不足する」と分析し、民間船舶を緊急利用する枠組みの在り方や、被害が発生した場合の補償措置を検討する必要性が明示されていました。

防衛省防衛整備課は、「予備自衛官になるかどうかを決めるのは船員本人で、強制はできない」と記事は伝えています。全日本会員組合の元関西地方支部長の新古勝さん(70)は、「予備自衛官になれば会社に言われたら、船員はたやすく断れない。事実上の徴用であり、太平洋戦争の悲劇を繰り返しかねず、絶対に反対だ」と批判しています。

れ幕を掲げました。防衛省の通達では、自治体に協力を求める自衛官募集の具体的な業務は、看板・垂幕掲示などの広報活動、部隊などの見学の奨励、写真展示会・音楽会の開催、適齢者情報（名前、生年月日、性別、住所）の提供など多岐にわたります。（1. U）

確認のためネットを調べましたが、「英ペルシャ湾派遣艦ノーフォークの作戦日記」は見つからないので、アメリカの「Stars and Stripes」（ホームページ）に出ている記事を参照してみました。（後掲）

これによって問題点が3点浮上します。

船員は約2万人います）、95%は外国人船員です。自衛隊に守らせる外航日本船や日本人船員はほとんどいないのが現状です。日本支配下の2,000隻の便宜置籍船を全部自衛隊に護衛させるなど不可能なことです。

集団的自衛権容認による武力の増強では、テロとの戦いでも惜しみを増幅し、国家間では相互不信から軍拡競争を助長するだけで、解決にはなりません。武力によらない憲法9条の立場を貫き、世界中の平和を確立することこそが日本の安全と海上輸送を守る唯一の道です。

（参照記事）

Stars and Stripes(home page)

Iraq's oil industry: Guarding a nation's future

Published: October 22, 2006 By Jennifer H. Swan,

USS Firebolt (PC-10) is the 10th member of the Cyclone-class of coastal patrol boats. She is a 174 ft (53 m) vessel with a crew of approximately 30 sailors, normally ho reported at Naval Amphibious Base Little Creek, Norfolk, Virginia. Her armament includes two Mk3 Schain guns, two Mk19 automatic grenade launchers, and two .50 in (12.7 mm) machine guns, as well as six Stinger missiles. [3] She was laid down by Bollinger Shipyards on 17 September 1993, launched on 10 June 1994, and commissioned into the Navy on 10 June 1995. [2] Persian Gulf service [edit]

t] In February 2003, Firebolt deployed to Bahrain to operate in the Persian Gulf in support of Operation Enduring Freedom and Operation Iraqi Freedom. While there, she rotated crews so that she could remain on station without returning home for leave. In February 2004, Firebolt collided with a navigational buoy off the coast of Iraq. The subsequent inquiry board into the incident led to the removal of Lieutenant Commander Michael T. Sullivan from command. [4] On 24 April 2004, Firebolt's rigid-bulld inflatable boat attempted a boarding operation on a dhow that was approaching the Khawr Al Amaya Oil Terminal in Iraq. As the boarding team of seven pulled alongside, the dhow exploded in an apparent suicide bombing. Two sailors—Petty Officer First Class Michael J. Pernaselli, 27, and Petty Officer Second Class Christopher E. Watts, 28, and one Coast Guardsman, Petty Officer Third Class Nathan Bruckenthal, 24—[5] were killed when the explosion flipped the boat over, dumping her crew into the water. Bruckenthal, a member of the embarked Law Enforcement Detachment, was the first Coast Guardsman to die in action since the Vietnam War. The survivors were picked up by an S-70B-2 Seahawk helicopter from the Australian frigate HMAS Stuart. [6]

8月15日のNHK討論会「ニッポンの平和」での、

岡本行夫氏の主張について 本望隆司

8月15日のNHK討論会「ニッポンの平和」で、外交評論家の岡本行夫氏が「イラクで日本タンカーが襲撃され、アメリカ兵の犠牲で守られた。自衛隊も日本人も何もしないで、安全輸送を享受しているよいか」と主張しました。

多くの集団的自衛権賛成派のネット上に、この情報は掲載されていますが、どれも同じ文章でニュースソースは同一のようです。内容は次のようなものです。

「英ペルシャ湾派遣艦ノーフォークの作戦日記によれば、2004年4月24日にダウ帆船と高速ボートによるバスラ沖の石油積出ターミナルへの海上テロ攻撃が生じ、米海軍兵2名と米沿岸警備隊員1名が死亡しています。この時自爆テロのすぐ近くには日本郵船の超大型タンカー「高鈴」（28万トン）が係留中であり、タンカーの数百メートル手前で高速ボートが大爆発を起こしていたのです。そして数日後、国際テロ組織アル・カイダと関係が深いとされるヨルダン人テロリストのザルカウイ容疑者の犯行声明が出ました。」

① この事件は、アルカイダが石油ターミナル（Khawr Al Amaya Oil Terminal）を攻撃しようとして、ダウ船（機帆船・小型貨物船）で接近した際、それを警備しているUSコーストガードが臨検のためダウ船に乗り込んだ時に爆発したものであり、日本タンカーをねらっていたわけではない。（タンカー「高鈴＝TAKASUZU」のことは一切記載なし）

② アメリカはアメリカコーストガードの巡視艦（Firebolt, 350ton）を派遣して対応していますが、イラク国内の治安問題のため軍艦での対処が困難なためだったのか？とすれば自衛艦（軍艦）派遣の主張はどうなるのか？

③ タンカー「TAKASUZU」はパナマ籍の便宜置籍船で、日本籍船ではありません。日本の海運会社の支配船は約2,000隻ありますが、大部分を便宜置籍船（名目的に税金や規制のゆるい外国に国籍を置く）に依存し、日本籍船はわずか100隻程度です。船員は1隻20人としても4万人が必要ですが、現在日本人外航船員は2,000人程度しかおらず（内航